

患者さんへ

「急性心不全患者の回復過程における身体機能障害予防に着目した 早期リハビリテーション関連因子の同定」

この研究は、通常の診療で得られた記録を使って行われます。このような研究では、国が定めた指針に基づき、対象となる患者さんのお一人ずつから直接同意を得ることが困難な場合には、研究の目的を含む研究の実施についての以下の情報を公開することが必要とされています。

1 研究の対象	2025年4月より2028年3月までに札幌東徳洲会病院循環器内科、心臓血管外科で心臓治療、手術を受けた/受ける急性非代償性心不全の患者さんを対象としています。
2 研究目的・方法	本研究では、入院をきっかけとした歩行機能の変化や非心臓性併存疾患の発現状況が、身体機能障害にどのような影響を与えるのかを、過去の診療録の情報を用いて検討することを目的としています。さらに、急性期における心臓リハビリテーションが、身体機能障害の予防に関わる要因を明らかにし、今後のリハビリテーションの最適なあり方を考える上で有用な知見が得られる可能性があります。 研究の期間:施設院長許可(2026年5月予定)後~2029年5月
3 情報の利用拒否	情報が当該研究に用いられることについて、患者さんもしくは患者さんのご家族等で患者さんの意思及び利益を代弁できる代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象と致しません。その場合は、「6. お問い合わせ先」までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。 ただし、ご了承頂けない旨の意思表示があった時点で既にデータ解析が終わっている場合など、データから除けない場合もあり、ご希望に添えない場合もあります。
4 研究に用いる情報の種類	年齢、性別、身長、体重、病歴情報(原疾患名等)、入院前と入院時の歩行状態や日常生活動作、認知機能評価、入院中の病態および投薬情報・臨床検査値・心エコー・在院日数、集中治療室(ICU)在室日数等、退院後の生活状況:住居・家族情報(同居人数・介護サービスの有無)等
5 個人情報の取扱い	収集したデータは、誰のデータか分からないように加工した上で、統計的処理を行います。国が定めた「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」に則って、個人情報を厳重に保護し、研究結果の発表に際しても、個人が特定されない形で行います。
6 お問い合わせ先	本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。 照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先: 研究責任者:札幌東徳洲会病院 リハビリテーションセンター 佐藤 祐介 住所:札幌市東区北33条東14丁目3番1号 電話番号:011-722-1110(代表)